

この「研究レターHem21オピニオン」は当機構の幹部、シニアフェロー、上級研究員等が研究活動や最近の社会の課題について語るコラム集です。

(「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記であるHyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Institute の略称です。)

発行：(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター ☎078-262-5713 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 (人と防災未来センター)



五百旗頭真先生をおもう

研究戦略センター 研究統括 大西 裕

五百旗頭真先生と私は、元々それほど近い関係であったわけではない。先生は私にとって大学の大先輩で、存じ上げてはいたが、学生時代に先生が私の出身大学でなされていた講義(日本政治外交史)も受講しておらず、大学院に進学後も専門分野が異なっていたためこれといった接点はなかった。一言でいうと遠い存在だった。

先生とお会いする機会を得たのは、私が大阪市立大学に就職してすぐの頃、サントリー文化財団の研究会であったと思う。当時は政治学の領域でもアジアが研究対象として注目されており、私もその流れに乗って韓国の政治・行政を研究していた関係からだろう、高坂正堯先生のお誘いで研究会に参加させていただいた。ただ私は当時、一若手研究者に過ぎず、先生と直接接した記憶はない。

私が鮮明に覚えているのは、先生が政治学会の文献委員長をされていた時に、仕事を手伝ってほしいと依頼があったことである。電話でいきなり「デートしよう」とおっしゃられ、私が当時住んでいた街の喫茶店までいらっしゃった。依頼された仕事の中心が中心であったが、なぜこのためだけに既に当時ご多忙であったろう先生が会いに来られたのかは分からない。ただこれ以降、学会などでお会いすると親しくお話するようになり、韓国関係では先生からお尋ねを受けることがあった。私が2005年に神戸大学に異動後、授業の一環で一緒に韓国を旅行し、古都ブヨ(扶余)を訪れたことは今でも思い出す。とはいえ、専門の違いは大きく、先生と研究プロジェクトで一緒にしたのは一度きりである。

ひょうご震災記念21世紀研究機構で研究会の座長をお願いしたいとのお話があったのは、2011年末である。先生が翌年度から同機構の理事長となられ、社会科学関連で幾つか研究プロジェクトを立ち上げるが、そのうちの一つを、とのことであった。同年に起こった東日本大震災では、自治体間連携が重要な役割を果たした。とりわけ2010年に発足したばかりの関西広域連合が熱心に行った被災地支援は注目を浴びていたが、要請されたのはその実態解明であった。

先生からのご依頼なのでお引き受けはしたものの、私は当時防災行政についてよく分かっておらず、関西広域連合についても報道程度しか知らなかった。研究会を主宰はしたが、防災研究者や実務家の方々から教えてもらおう一方であった。ともかく一生懸命勉強した。先生とお話する機会が増えたのは

これ以降であった。

ただし、機構の外でお会いすることが多かったように思う。先生はお話が長いことで有名だったが、聞き上手でもあった。引き出し方がうまく、私もつい先生に促されているし申し上げていたと思う。何の席であったか忘れたが、鎌田浩毅『地球の歴史(上・中・下)』(2016年、中央公論新社)に話が及んだ。私もたまたま読んでいたので、その内容について先生と議論ができてうれしかった記憶があるが、同時に、先生の本来の研究とは何の関係もないであろう分野について知見をお持ちであることに驚き、これも防災と関係づけられるのかと感心した。

先生と毎月のように機構内で顔を合わせるようになったのはここ2年である。研究統括として出席するようになった経営会議で、毎回少し長めの挨拶を伺ってきたが、国内外の情勢の解説が防災の在り方へとつながっていく行論はいつも聞き応えがあり、勉強になった。2年前から始まったポストコロナ社会の在り方に向けた研究会には先生が毎回出席され、質問されてはヒアリング対象者に説明を促されていた。今年2月の研究会は私がコロナに感染してしまったため1カ月延期となったが、その間にお見舞いのお電話を頂き、3月4日の研究会では、閉会時にがっかりと私の肩をつかんで、「頑張ってください」とおっしゃられた。

先生がお亡くなりになったのは、わずかにその2日後である。いまだ実感を持って理解できない。お任せいただいた研究会も、五百旗頭先生が存在なくしてはとても心もとない。いつの間にか、私は先生に頼り切っていた。

まだ私の頭の中は整理がつかない。ただ五百旗頭真先生のご冥福をお祈りするばかりである。

大西 裕氏

Profile

1965(昭和40)年生まれ
京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学
博士(法学、京都大学)
神戸大学大学院法学研究科教授
(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター
研究統括